

(一般情報)

牛の分娩監視をもっと省力的に、もっと安全に ～畜産農家向けのスマート農業に係る研修会を開催しました～

安房農業事務所改良普及課 令和7年11月27日発

近年、畜産現場では高齢化や人手不足が進み、夜間巡回を含む分娩監視の負担軽減や対応の遅れによる事故の防止が求められています。

当所管内の酪農家及び和牛繁殖農家を対象に、11月18日に分娩監視の省力化をテーマとした研修会を開催し、農家11名と関係機関3名が参加しました。

研修会では牛の体温を自動計測し分娩の兆候を通知する機器に加え、分娩牛の状態確認に監視カメラを活用する農家を視察し、視察先農家からは夜間でも自宅から牛の様子を確認でき巡回回数の削減につながっているなどのメリットが紹介されました。

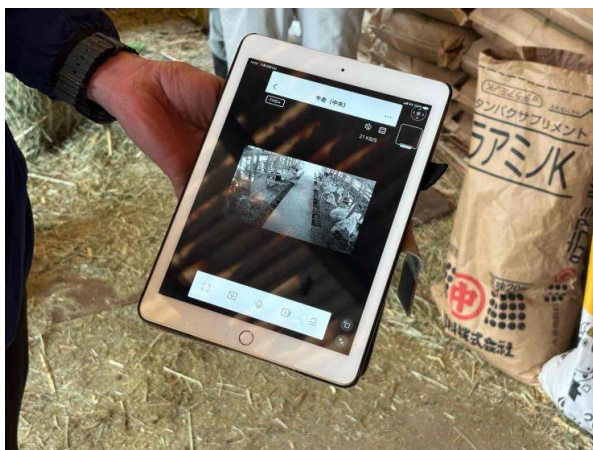
また、導入を検討している農家からは「発情兆候の見極めが難しくなっており、データが判断の裏付けになる」との声も寄せられ、参加者同士の活発な意見交換が行われました。

今後も当所は関係機関と連携し、課題解決に向けた場づくりを進めていきます。

※本研修会は千葉県みるく農協南部支所酪農研究会、千葉県農業共済組合南部家畜診療所、畜産総合研究センター嶺岡乳牛研究所、当事務所が合同で企画・運営しています。



「牛舎内での分娩監視カメラ等の説明」



「出先でも牛の様子が観察できる」